主 文

本件上告を棄却する。

理 由

弁護人香田広一の上告趣意(後記)は、結局訴訟法違反、量刑不当の主張に帰し 刑訴四〇五条に該当しない。また記録を精査しても、同四一一条を適用すべきもの とは認められない。

よつて刑訴施行法三条の二、刑訴四〇八条により主文のとおり判決する。 この判決は、裁判官全員一致の意見である。

昭和二六年一一月二二日

最高裁判所第一小法廷

裁判長裁判官	沢	田	竹治	郎
裁判官	真	野		毅
裁判官	斎	藤	悠	輔
裁判官	岩	松	Ξ	郎